

 WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2005.8

No.256

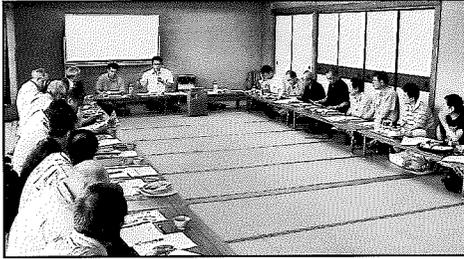
日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



平成17年度(第21回)支部総会を開催

平成16年6月26日(日)午後1時30分から、さいたま市浦和岸町コミュニティーセンター和室で、支部総会を開催しました。



●記念講演

長野誠治の司会で始まり、記念講演は、本部自然保護室の山田泰広氏(左写真)の「IBA-野鳥重要生息地事業について」。保護対象の地域を世界基準でランク付けする作業についての話に、質問・意見が相次ぎました。



●議長など

藤掛保司支部長の開会の挨拶で総会が始まり、田邊八州雄が議長に、玉井正晴が書記、大坂幸男・小荷田行男が議事録署名人に選出されて、議事に入りました。

●16年度事業報告と17年度事業計画

海老原美夫事務局担当副支部長が平成16年度に実施した事業について説明し、各部長がそれぞれ補足説明、普及部担当以外の公民館などの探鳥会を指導したリーダーたちが、普及活動に関して追加報告をしました。

【総務・事務局関係】

16年度末の会員数は2,354人。減少が続いている。本部の入会案内パンフレットに挟み込むカラーリーフレット「埼玉県支部の場合は」を作成したので、活用してほしい。

【普及活動関係】

普及部(部長:橋口長和)が担当した探鳥

会は、実施98回、1ヵ月平均8.2回。参加者合計4,092人、1回平均41.8人。

【調査研究関係】

研究部(部長:小荷田行男)はタカの渡り、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類の調査を継続し、野鳥分布調査の再開を検討。

記録委員会(委員長:小林みどり)は2種を県内まれな例として、3種を初の記録として記録した。

【編集活動関係】

編集部(部長:山部直喜)は『しらこぼと』を年12回、合計27,000部発行し、5月号からは表紙デザインを一新し、1月号からは表紙を通年カラー化した。

【事業活動関係】

事業部(部長:福井恒人)は目標売上額を下回った。

17年度事業計画案は、基本的な従来の活動を確実に継続する方針が説明され、それぞれ承認されました。

●16年度決算と17年度予算

事務局担当が、仮払金の清算、あるいは仮払金残というのは、普及部費用と編集部費用を予算額そのまま仮払金として一時支出し、次の年度で清算しているものであることなどを説明しました。

岡安征也・楠見邦博両監事が監査報告をして、引き続き説明された17年度予算案とともに異議なく承認されました。

●17年度役員

高草木泰行から、探鳥会リーダーは続けるが、役員は退任したいとの申し出がありました。前年度役員のうち37名を再任、新たに大澤祐・内田孝男の2名を推薦する案が承認されました。

新役員の挨拶の後、総会を一時中断して17年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、支部長・副支部長・監事は前年度と同じとすることが議決されました。

平成17年度役員

顧問	鈴木忠雄	熊谷市
	松井昭吾	さいたま市
支部長	藤掛保司	川越市
副支部長	海老原美夫	さいたま市
幹事	石井 智	鴻巣市
	石川敏男	春日部市
	石光 章	所沢市
	伊藤芳晴	川口市
	井上幹男	長瀨町
	内田孝男	総和町
	榎本秀和	鴻巣市
	大坂幸男	上尾市
	大澤 祐	川本町
	北川慎一	本庄市
	喜多峻次	小川町
	工藤洋三	さいたま市
	倉林宗太郎	さいたま市
	小池一男	寄居町
	後藤康夫	嵐山町
	小荷田行男	さいたま市
	小林みどり	大和市
	佐久間博文	川越市
	島田恵司	鴻巣市
	杉本秀樹	習志野市
	田中幸男	蓮田市
	田邊八州雄	越谷市
	玉井正晴	蓮田市
	手塚正義	川口市
	内藤義雄	鴻巣市
	中里裕一	騎西町
	長嶋宏之	蓮田市
	中島康夫	蓮田市
	長野誠治	さいたま市
	橋口長和	春日部市
	長谷部謙二	川越市
	菱沼一充	白岡町
	福井恒人	さいたま市
	町田好一郎	本庄市
	山部直喜	三郷市
監事	岡安征也	北本市
	楠見邦博	さいたま市



大澤祐



内田孝男

平成16年度決算・17年度予算				
収入の部				
	項 目	16年度決算	17年度予算	
一般会計	期首繰越金	3,901,124	4,283,310	
	会費	3,603,150	4,000,000	
	寄付金	10,850	10,000	
	探鳥会参加費	322,746	300,000	
	雑収入	85,664	10,000	
	補助金	400,000	300,000	
	仮払い金清算	46,594	0	
	一般会計合計	8,370,128	8,903,310	
	事業部会計	期首繰越金	1,552,201	1,701,353
		運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
事業部売上金		609,403	700,000	
事業部雑収入		2,082	3,000	
事業部会計合計		7,163,686	7,404,353	
総合計		15,533,814	16,307,663	
支出の部				
	項 目	16年度決算	17年度予算	
一般会計	什器備品費	44,448	300,000	
	消耗品費	6,105	20,000	
	支部報印刷費	1,110,781	1,430,000	
	支部報発送料	1,043,209	1,200,000	
	印刷コピー代	143,539	200,000	
	通信費	134,219	150,000	
	雑費	109,976	120,000	
	家賃	1,066,000	1,000,000	
	水道光熱費	51,344	60,000	
	総務部費用	120,887	120,000	
	普及部費用	144,165	220,000	
	編集部費用	49,982	50,000	
	研究部費用	360	60,000	
	予備費	0	500,000	
	仮払金残	75,853	0	
	期末繰越金	4,269,260	3,473,310	
	一般会計合計	8,370,128	8,903,310	
	事業部会計	事業部仕入れ金	461,283	500,000
		事業部費用	1,050	10,000
運営準備積立金		5,000,000	5,000,000	
期末繰越金		1,701,353	1,894,353	
事業部会計合計		7,163,686	7,404,353	
総合計		15,533,814	16,307,663	

2005年冬 カモ科調査

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

本調査が実施された2005年1月8日から10日までは、冬型の気圧配置で、冬晴れが続いた。渡良瀬遊水地、武蔵丘陵森林公園、道満が、前年比半減状態が続き、他は例年並み、全体として減少傾向が続いている。トモエガモはさきたま古墳で20羽、昭和池で9羽、武蔵丘陵森林公園2羽の計31羽。1980年代後半までの100羽超えの値を回復していない。

県内29カ所、27名の方々の調査に感謝します。(小荷田行男)

調査地	入間川	荒川										そのほか公園	古利根川	利根川	渡良瀬遊水地	狭山湖	小幡川調整池	新河津川	
		豊水橋、新富士見橋	荒川鉄橋、戸田橋	運満 (荒川第一調整池)	秋ヶ瀬橋、羽根鳥橋	前沼橋水環境びん沼川	荒川大橋、明戸堰	五波ダム	池全部	舟橋、堂園橋	藤塚橋、古利根橋								飯東大橋下流
調査範囲	狭山市	戸田市	川口市	さいたま市	さいたま市	熊谷市	江府町	寄居町	車加市	松伏町	越谷市	富士見市	越谷市	本任市	北川辺町	所沢市	川越市	川越市	
コハクチョウ							133												
オシドリ								109											
マガモ	5		5		1	68		29		4				92	232	200	7	5	
カルガモ	46	27	48	21	17	107			25	32	17	125	1239				2	105	
コガモ	55		103	6	14	53			27	26	39	362		20	224		17	113	
トモエガモ														21				2	
ヨシガモ			15											42	2	14		7	
オカヨシガモ	2		25																
ヒドリガモ			22		35				53	72	5	3		272			49	204	
アメリカカヒドリ		30								1									
オナガガモ			1	3		803			81			15		12			125	1	
ハシビロガモ			33		16				40			2		2			2		
ホシハジロ		1	8	4		29			76									3	
キンクロハジロ			13	5		22			35										
ホオジロガモ						5													
ミコアイサ			5	3											56				
カワアイサ														11	10				
カモsp															1920				
種数	5	3	11	6	5	8	2		3	5	9	9		2	5	5	6	8	
合計	109	58	278	42	173	1130	138	337	135	61	673	3765	442		202		440		
調査者数	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

調査地	大沼	大沼公園	大沼公園内の池全部	大沼	池全部	芳沼	久喜菟原公園	昭和池	さきたま古墳	白鷺沼	見沼自然公園	柳瀬川	嵐浜沼	元香川	赤堀遊水池	緑の丘公園	合計	調査範囲	地域
																	133		コハクチョウ
																	109		オシドリ
																	2410		マガモ
																	2675		カルガモ
																	3287		コガモ
																	31		トモエガモ
																	42		ヨシガモ
																	111		オカヨシガモ
																	1063		ヒドリガモ
																	31		アメリカカヒドリ
																	1401		オナガガモ
																	184		ハシビロガモ
																	426		ホシハジロ
																	616		キンクロハジロ
																	10		ホオジロガモ
																	70		ミコアイサ
																	21		カワアイサ
																	1920		カモsp
	6	8	2	5	9	12	3	8	6	7	4	4	4	5	7				
	83	653	14	204	995	1572	234	95	218	293	150	348	1875	118	14635				
	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	2	1	1				

渡良瀬遊水地ミニ通信（夏）

総和町 内田 孝男

渡良瀬遊水地にも本格的に夏鳥たちがやってきた。

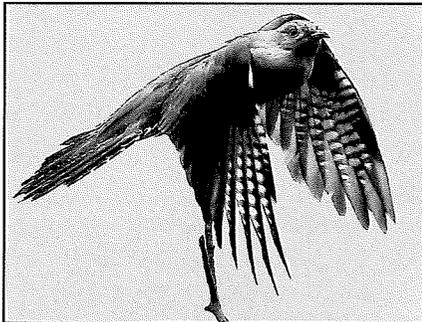
アシ焼きから数日後のサシバに始まり、ツバメ、ササゴイ、オオヨシキリ、カッコウ、コヨシキリ、ヨシゴイ等留鳥たちとともに、にぎやかな季節だ。

今年のツバメの初認は4月に入ってからで比較的遅く、一般の市街地に来る3月中より少し遅れた（もっとも広い遊水地、気がつかないだけだったかもしれないが）。ササゴイは4月下旬に入った、5月上旬には早くもペアリングが決まり、昨年と同じ木で営巣が始まった。

今年も比較的観察しやすいところだったので楽しみにしていたが、5月中旬過ぎにカラスに狙われ、卵を盗られたと知人から連絡があった。その後親たちは寄り付かなくなった。自然の成り行きとはいえ、残念。別のところではどうやらうまく行きそうである。ササゴイは近年増えているように思える。

オオヨシキリは、この時期高原を訪れさわやかなさえずりを聞かせてくれる野鳥たちと違い、実にやかましい。しかしアシ原に立ってぼんやりと風景を眺めていると、やがてそんな囀りさえ空間に溶け込み、五感にしみ入り、己の存在を示す姿のみが目の前に映る、饒舌の中にあるしじまでもというのだろうか。（こんな感覚を味わった事ありませんか。）

コヨシキリは5月15日独特の囀りを初



カッコウ（編集部）



ホオジロ（久保田忠資）

認、以来あちこちで聞くことができる。一昔前は比較的限られたところだけであったが、今はテリトリーを広めている。それだけ遊水地が乾燥化してきているのだろうか……。

カッコウも中旬に入り遠く近くで耳にするようになった、メスはピピピ……と鳴くとあるが、いまだ聞いたことがない。ぜひ1度耳にしたいと思っている。1羽のメスが繁殖地での1シーズンに15前後を托卵するという。それでも増えないということは、いまだに見破られる確率が下がっていないのだろうか。オオヨシキリに托卵するにはもう少し進化が必要なのだろうか。

ヨシゴイは5月下旬になり確認したが、一時より減ってきている気がする。アシ原浄化ゾーンでも見られる数は少ない。6月18日夕方、今年繁殖した若いツバメが目につき始めた。1番子が訪れ始めている。今年も壮大な罫入りが楽しみである。（出来れば今年はずひ埼玉県支部でも違った角度での探鳥会を開催して頂きたいと思います。）

追伸

渡良瀬遊水地連絡会の主要構成員の脱会のため、活動を一時休止するとの情報が入りました。

多額の民の税金を投入して数年の年月と会合を開いて得られた結果ということです。何とも寂しい。100年の歴史を経ても、遊水地に関する行政の変わらない現状、というのが実感です。



野鳥情報

桶川市若宮 ◇2月10日朝、シジュウカラ初さえずり。3月8日午前7時5分、ウグイス初さえずり。4月10日、メジロ初さえずり。4月14日、アオジ初さえずり。それぞれ自宅ベランダから聞く（立岩恒久）。

さいたま市西区鴨川（ふじはし〜第二調節池）

◇3月10日午後4時頃、第2調節池付近でゴイサギ、カワセミ、オオジュリン。梅林にアカハラ、ツグミ、ホオジロ。3月19日、午後4時半頃、関沼付近でベニマシコ♂♀、ジョウビタキ♂、アオジ、オオジュリン。3月27日午前9時半頃、学校橋近くのアシ原で、モズ♂が急降下したと思ったら野ねずみをくわえて近くの木の枝に止まった。はやにえを期待したが直ぐアシ原の下に消えた。3月30日午前9時〜10時頃、最低水位に調節された植田堰〜栄橋の間、小さい中州や干潟が現れていてイソシギ、コチドリ、タシギ、タヒバリが一度に見られた。今年初めてツバメが川面を飛ぶのを4回見た（増田徹）。

さいたま市見沼区上山口新田 ◇3月14日、タシギが土手沿いの水辺から飛び立ち、少し離れた枯れアシ原に飛び込んでいった。3月18日、芝川の干潟にコチドリ3羽、盛んに採餌。縄張り争いか、たまに飛び立っては鳴きながら居場所を変えていた。何時も居たヒドリガモの姿が見えない。そろそろ川面も寂しくなりそうだ。4月1日、芝川中州にユリカモメ3羽、頭が少し濃くなり夏の準備。コチドリがあちこちの干潟でペアで採餌。川の上空を2羽のコチドリが盛んに鳴きあいながら飛び回っていた。川面のカモも大分少なくなり、オナガガモ、ホシハジロの姿が見えない。キンクロハジロ21羽が何やら小声で相談する様なしぐさで集まっていた。旅立ちの相談か。下流の開けた干潟にタシギ2羽、嘴を深く差し込んで餌をあさっていた。4月8日、芝川付近、昼近くに出かけたためか、川面にカモ

の姿が少ない。この1週間でツバメの数が随分と増えた。枯れたアシに頭が黒くなったオオジュリン1羽が動き回っていた。川の上を頭を真っ黒に染めたユリカモメが行ったりきたり、用水沿いの桜はこのところの暖かさで満開、ヒヨドリが蜜に群れていた（赤堀尚義）。

さいたま市見沼区大宮南部浄化センター付近

◇4月15日、大宮南部浄化センター脇、蒲の若芽の茂みの中でクイナ1羽、盛んに動き回っていた。川面に影を映しながらツバメ数羽行ったりきたり、先週に比べ随分たくさん渡って来た。カワセミが鋭く啼きながら下流に飛んでいった。砂利を撒いた農道の上をコチドリ2羽が巣作りの準備なのか、歩き回っては鳴きあっていた。土手はすっかり春、タンポポが土手一面に咲き、ツグミが歩き回っていた（赤堀尚義）。

さいたま市見沼区大宮第三公園付近 ◇3

月24日、芝川の岸辺にタシギが少し離れて2羽、干潟にコチドリ1羽、上流からカワセミが目の前を飛んでいった。芝川小わき空き地のセイタカアワダチソウの、僅かに残った穂にベニマシコ♂1羽♀2羽、仲良くとまり実を分け合っているようだった。民家の茂みでウグイスがさえずりのお稽古をしていた（赤堀尚義）。

さいたま市見沼区深作 ◇3月27日、オオバ

ン1羽、クイナ1羽、コチドリ4羽、イソシギ1羽、オオジュリン、ジョウビタキ♀1羽など（藤原寛治）。

さいたま市見沼区大谷環境広場 ◇3月29

日、コチドリ10羽、タシギ2羽、ツグミ、セグロセキレイなど。4月6日、タシギ7羽、コチドリ2羽など（鈴木紀雄）。

さいたま市緑区 ◇4月5日、ツバメ1羽。

今年の飛来を確認（落合英二）

さいたま市浦和区調神社 ◇4月8日、ツミ

の声と飛ぶ姿。ここでは2年ぶり（海老原美夫）

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇4月10日

ノビタキ3羽、チュウジシギ6羽、ムナグロ16羽、ツバメ多数（海老原美夫）。

岩槻市岩槻文化公園 ◇3月24日、ウグイス

の美しいさえずり。カワセミが一直線に飛翔。クロジ♂2羽、ぶじ越冬。3月29日、カワウ、コサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、セグロカモメ、タヒバリ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、カシラダカ、アオジ、クロジ、シメなど計29種（鈴木紀雄）。

岩槻市南平野 ◇3月30日、車運転中に飛翔するツバメ1羽、今期初認（鈴木紀雄）。

蓮田市黒浜 ◇3月18日、トラツグミ1羽、ルリビタキ♂1羽。マヒワ3羽、頭上の木より「チュイン」と鳴いて飛んでいった。カケス2羽、アオジ、カシラダカ、ツグミなど。カシラダカを始め、冬鳥がぐんと減った（本多己秀）。◇3月30日、上沼周辺でコチドリ2羽、カルガモ、コガモ、オオバン、バン、アカゲラ♀1羽、オオジュリン、アオジ、モズ、カケス1羽、キジ♀1羽、アオサギ1羽、コサギ1羽、ジョウビタキ♀1羽（鈴木紀雄）。

蓮田市蓮田 ◇4月7日、樹齢70年位のプラムの老木にコゲラが営巣しました。入り口は直径3cmで地上1.9mの所。車や人の通りもかなりある住宅地の角地です。今後どうなっていくのか楽しみ（本多己秀）。

宮代町和土 ◇4月9日、上空を舞うサシバにツバメがモビング（鈴木紀雄）。

本庄市都島旭公民館敷地内 ◇3月20日、アカハラ♂2羽、アオジ♂1羽、コジュケイ♂1羽、ツグミ♂3羽、公民館駐車場と隣接する竹藪の間を行ったり来たり！特にツグミとコジュケイのバトルは緊張感が有り面白かった。各画像をゲットできた（町田好一郎）。

狭山市入間川広瀬橋付近 ◇3月23日、ツバメ初認。3月30日、イワツバメ初認。4月2日、ジョウビタキ♂終認。4月10日、ノビタキ♂1羽（美しい夏羽だ）。4月10日、オオジュリン数羽（久保田忠資）。

所沢市山口 ◇4月16日午前9時半頃、雑木林でツミの♂と♀を見ました。鳴き声で気付き探したところ、桜の木に止まっている♂から5メートルほど離れた木で♀が盛んに鳴いていました。♂は口に木の枝を銜え

ており、松の枝に飛び移りました。しかしその10分後と午後にも通りましたが気配はなく、あれは新居探しだったのかな？と思います。4月17日午前10時半頃、ルリビタキの若♂と思われる個体を見た後、さえずりを聞きました。また午前11時頃には、オオタカの声聞き探していたところ、南方向からオオタカが飛来し、少し先でUターンしてきたと思ったら森の中に止まっていたもう1羽を、樹間を縫うようにものすごい速さで追いかけて始めました。すると何と何とその1羽が私の立っていたすぐ脇の山桜の木に止まったのです。鋭い目の顔が双眼鏡のレンズいっぱいに見えました。真上すぎるのと逆光だったのでもう少し良い場所へと思ったのは失敗でした。飛ばれてしまいました（小林ますみ）。

寄居町中間平緑地公園 ◇3月27日午後4時頃、周回路で桜の花芽をついばむソウ♂3羽（内1羽は亜種アカウソ）♀4羽（鈴木敬）。

渡良瀬遊水地 ◇4月9日、トビ、ノスリ、チュウビ、ハヤブサ、セグロカモメ、ジョウビタキ、コチドリ、ツルシギ5羽（鈴木紀雄）。

花園町 ◇4月16日午後3時過ぎ、民家脇の竹やぶ（荒地）でダイサギ、コサギ、ゴイスギ等のコロニー（豊嶋眞佐枝、直樹）。

児玉郡神川町 ◇3月31日午前10時30分、県営温泉「アカシアの湯」の駐車場上空でツバメ3羽、青空をバックに気持ち良さそうに雑木林の方角へフライトして行った（町田好一郎）。

表紙の写真 スズメ目アトリ科ギンザンマシコ属ギンザンマシコ

写真：柳清二（大利根町）まだ探鳥をはじめて5年目ですが、鳥の名前をおぼえるために、写真を撮っています。約250種を超えたものですから、恥ずかしいのですが、一部遅らせていただきました。

解説：編集部 北海道山地のハイマツ林で繁殖。県内での記録はない。日米渡り鳥条約と日露渡り鳥条約の指定種。



行事案内



(富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。 持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。 解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月7日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス8:40発で「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野

見どころ：雷とともに梅雨が明け、雷とともに夏が終わるといわれています。立秋とはいえ残暑の厳しい時季です。木陰が多いので、幾分かはしのぎやすいと思います。水と緑の効用を心に刻みながら、広く自然に目を向けて観察するよい機会ともいえます。



オオタカ幼鳥(大澤祐)

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月14日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：中里、和田、森本、石井(博)、倉崎、高橋(ふ)、後藤、藤田、栗原、飛田、新井(巖)

見どころ：8月も半ば、早くもシギやチドリへの渡りが始まっています。ここ大麻生の河原にも立ち寄ってくれます。暑さの続く中、葉陰でそっと身を潜めている鳥たちも探してみよう。木陰を求め、涼風を受けながら歩きます。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月20日(土)午後3時～4時ころ

会場：支部事務局108号室

案内：今年は、6月から35度を超える暑さが続いていました。朝晩涼しくなり始めのこの時期が、夏の疲れも出てくる頃、日頃の体調管理を充分にお出かけください。よろしく願いいたします。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月21日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館



モズ (本橋紳浩)

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺 (周)、
若林、森、小管、赤堀、新部、青木
見どころ：ここの探鳥会は第三日曜日と決ま
っているので月初めの曜日によって一
週間の範囲で変動があります。今月は、
コガモの到来、シギやチドリの渡りは
どうでしょうか。鳥が少なくても、夏
休みに出かけた旅の鳥談義を楽しみに
お出かけください。

千葉県船橋市・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月21日 (日)
集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札
口付近。集合後京成バス9：40発船橋
海浜公園行きに乗車、終点下車。
交通：JR武蔵野線南浦和8：30→西船橋に
て総武線乗り換え、船橋下車。
担当：佐久間、菱沼 (一)、玉井、齋藤、
高橋 (優)
見どころ：暑い夏は鳥が少ないと思ってい
ませんか。けれども秋の渡りはもう始
まっています。三番瀬ではシギ、チドリ
やアジサシ、コアジサシなどが多数渡
ってきています。これらの鳥たちを見
に来ませんか。
注意：日陰のないところです。暑さ対策をし
っかりと。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月28日 (日)
集合：午前9時35分、JR京葉線南船橋駅改
札口付近。
交通：JR武蔵野線武蔵浦和8：35→南浦和
8：39→南船橋9：29着 (直通)。
担当：杉本、菱沼 (一)、手塚、長谷部、伊藤 (芳)

見どころ：繁殖地から南へ帰る途中のシギ・
チドリの類を見ます。干潟が最も面白
い季節です。

リーダー研修会 (要予約)

期日：9月4日 (日)
午前9時30分～午後5時
(受付開始は午前9時より)。
会場：埼玉県自然学習センター
(北本市荒井5-200 TEL 048-593-2891)
<http://www.pref.saitama.jp/A09/BD01/>
交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前か
ら北里メディカルセンター病院行きバ
ス8：40、8：55発にて「自然観察公
園前」下車。
申し込み：初めてリーダー研修会に参加され
る方は8月10日までに往復はがきにて
住所、氏名、年齢、性別、電話番号を
明記して、橋口長和

へ。役員・リ
ーダーの方も必ず橋口まで参加申し込
みをTELでお願いします。

参加資格：探鳥会や、支部活動にリーダーと
して協力できる支部会員。

案内：当支部は、会員のボランティアで探鳥
会の運営をはじめ全ての支部活動を行
っています。貴方の新鮮な力をお貸し
ください。支部の歴史を学んだり、ケ
ーススタディーの探鳥会で、リーダー
の役割などを実習、皆で意見交換など
いたします。

注意：野鳥の識別の勉強会ではありません。
また、野鳥の会本部の検定などとは関
係ありません。

その他：筆記用具は持参してください。昼食
は当方で用意いたします。



ミヤコドリとダイゼン (松村禎夫)



行事報告

3月27日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加：26名 天気：快晴

カイツブリ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種)

スタート直後に、資料館脇のケヤキにハシボソガラスの巣を見つけ、巣ごもり中を全員で見られた。移築民家庭先の満開の梅に、花に埋まるようにアオジ♂。花と陽光に映えて絵のようだった。ジョウビタキも、巡る先、巡る先に出てくれ、このようなことも珍しい。でも、人気はカワセミ♂。古墳の池で「あそこ、ここに飛んできた」と盛り上がる。ウグイスもしっかりと鳴いてくれて、春らしい暖かな鳥見デーだった。(内藤義雄)

3月27日(日) 狭山市 入間川

参加：22名 天気：晴

カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ トビ オオタカ コチドリ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ エナガ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 3月の探鳥会が近づくと、桜の開花が気になる。探鳥会にあわせて咲かないでほしいと願っている。桜が咲けば、探鳥コースの稲荷山公園は宴会場となり、鳥どころではない。幸い今年の開花予想は少しずつ遅れて、当日は静かに鳥を見ることができた。しかし、桜は必ず咲くので、そのとき避難する鳥たちが気の毒だ。(長谷部謙二)

4月3日(日) 北本市 石戸宿

参加：51名 天気：快晴

カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ ノスリ コジュケイ バン キジバト アカゲラ コゲラ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) エドヒガンザクラが満開で、子供公園の北斜面にはカタクリが咲いていた。柳に止まるベニマシコ、低木で採餌するエナガ、いずれもじっくり観察できた。青空をバックにオオタカとノスリが帆翔し、カケスが次から次へと林から林へ移動する姿も見られた。梢でさえざるウグイスの観賞というおまけ付きだった。(岡安征也)

4月3日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：30名 天気：晴

カワウ カルガモ コガモ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン コチドリ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 朝から暖かく、風もなく、鳥見、花見には絶好の日和となった。残念ながら桜は咲いていなかったが、黄、白、桃色の草木や、かぐわしい香り、鳥たちのさえずりなど「春」を十分感じることができた。4月のこのコースはいつも長いのだが、参加者の皆様お疲れ様でした。(伊藤芳晴)

4月3日(日) 所沢市 狭山湖

参加：18名 天気：晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ コジュケイ ユリカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス (29種) 水鳥達がめっきり減り、カンムリカイツブリは広い湖面にわずかに4~5羽のみ。でも揃って色鮮やかな夏羽を楽しませてくれた。ホオジ

ロガモもまだ残っていたが、ルリビタキは現れず。シメも嘴の色が変わっていて、冬から夏への交代期を実感させられた。この冬の間、カラスを捕食して狭山湖の人気者となっていたオオタカの姿が見えなかったのははじめ、猛禽類が出現しなかったのが淋しかった。(石光 章)

4月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加：53名 天気：晴

カワウ ダイサギ トビ オオタカ ノスリ キジ バン キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ シロハラ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 桜の開花が遅れ、まさに本日満開。土手の上でSLを見送っていると、上空を約30羽のカケスが通過。また、数10羽のヒヨドリの群れにも出くわす。一方、近辺の住宅ではツバメが巣作り。まさに冬鳥と夏鳥の入れ替わり時季だ。ゴルフ場の横の林ではニュウナイスズメ数羽を確認。花見兼探鳥会だった。(後藤康夫)

4月16日(土)『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：8名

新井浩、江浪功、榎本秀和、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、増尾隆

4月17日(日) さいたま市 三室地区

参加：79名 天気：晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ オオタカ コジュケイ キジ クイナ バン オオバン コチドリ タシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 今年の桜の開花は例年より遅かった。お陰で花見の探鳥会になり、代用水の桜並木を楽しく歩いた。コチドリやオオジュリンも出て、近づく初夏の到来を告げた。しかし、芝川の改修工事が着々と進み、環境の変化が心配な三室である。

(楠見邦博)

4月24日(日) 東松山市 物見山

参加：26名 天気：晴

オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジバト カワセミ コゲラ ヒヨドリ モズ シロハラ ウグイス キビタキ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ イカル シメ ムクドリ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) ウワミズザクラ、アオダモ、足元にはチゴユリ、カンアオイが咲く。市民の森には、夏のゲスト、キビタキの囀り、入山沼では、けたたましく鳴くガビチョウの姿を確認。のんびり屋のシロハラ、シメはまだ居た。

(島田恵司)

4月24日(日) さいたま市 秋ヶ瀬公園

参加：76名 天気：快晴

カワウ ゴイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ チョウゲンボウ キジ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ アカハラ ツグミ ウグイス センダイムシクイ シジュウカラ アオジ クロジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 鴨川排水機場前の空き地に集合。開始前から排水機場付近の鳥見は始まっている。コガモ、カワウ、アオサギ、ツバメ。そのうちキジの♂が出た。キツネの親子も現れて笑いをさそう。ゆっくり1時間かけてから公園に向かう。キビタキを探しつつ歩く。コゲラがよく鳴く日だ。竹林の端でクロジの若鳥を全員でゆっくり見た。鳥合わせの最中にセンダイムシクイの声があり、終了となった。

(倉林宗太郎)



キジ (編集部)



カワセミ (編飼喜雄)



●三省堂『世界鳥名事典』

同社の『コンサイス鳥名事典』の復刊が待ち望まれていましたが、このたび、改訂を加えた A 5 版 672 ページの『世界鳥名事典』として、発売されました。

定価 6,825 円 (税込み) のところ、支部会員には多少割引販売ができます。ただし、部数に限りがありますし、郵送などは出来ません。支部事務局または探鳥会での直接販売になります。ご希望の方は、支部事務局にご連絡ください。

●夏鳥分布調査について

先月号に同封した調査葉書は、もちろん支部会員全員の義務ではなく、ご協力いただける人だけ、なるべく多くの人にお願いします、という趣旨です。

今年の冬から今まで観察した鳥について全部記載いただいた例もありますが、あくまでも今年 5 月 10 日から 7 月 10 日までの間の「夏鳥調査」です。よろしくをお願いします。

●普及活動

6 月 11 日(土)さいたま市立博物館と三室公民館共催の親子探鳥会が、見沼田んぼ周辺で開

催され、楠見邦博、倉林宗太郎、新部泰治、赤堀尚義が、カッコウの托卵など、子育てをテーマに指導しました。

6 月 19 日(日)県立小川元気プラザ主催「アウトドアセミナー」で、後藤康夫、青山紘一、新井巖、中村豊己、千島康幸が、将来ボランティアをしたいと希望している 20 代の若者たちに、室内と野外の講義で指導しました。

●事務局の予定

- 8 月 6 日 (土) 編集部・普及部会議。
- 8 月 13 日 (土) 9 月号校正(午後 4 時から)。
- 8 月 20 日 (土) 袋づめの会 (午後 3 時から)。
- 8 月 21 日 (日) 役員会。

●会員数は

7 月 1 日現在 2,357 人。久しぶりに前月比 11 人増になりました。全国の会員数は、6 月 1 日現在 46,757 人で、前月比 93 人増です。

活動報告

- 6 月 11 日 (土) 7 月号校正 (海老原美夫・大坂幸男・佐久間博文・志村佐治・山田義郎)。
- 6 月 19 日 (日) 役員会(司会:田邊八州雄、各部の報告・さいたま市立北浦和図書館への本誌寄贈・総会準備・その他)。
- 6 月 20 日 (月) 7 月号を発送 (倉林宗太郎)。

編集後記

7 月号の表紙の写真マジロキビタキが、版画のようになってしまった。印刷の最後の段階で何か間違いがあったとのこと。自分の写真だから多少おかしく印刷されてもあきらめがつくけど、投稿写真だったら、本当に申し訳ないことになってしまう。印刷所の担当者を事務局に呼んでいろいろ打ち合わせ。今月号からは大丈夫かな。(海老原)

しらこぼと 2005 年 8 月号 (第 256 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608
 本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社